

以森伝心

理事長 柏原康夫 筆

第 7 号

2009年4月

特集：インタビュー 「修験と森」
聖護院門跡 門主 宮城泰年氏

「京都モデルフォレスト運動」参加企業・団体活動 MAP

森と木のナルホド講座 第3回 「森林整備の必要性①」

モデルフォレスト活動報告 活動にぐぐっと接近 以森伝心リポーターニュース

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



みやぎたいねん
宮城泰年 氏

聖護院門跡 門主

現代人にとって一番必要な修行は
自然の力に畏敬の念を持つこと

京都市左京区にある、修験者^{しゅげんじや}いわゆる山伏^{やまぶし}を統括している修験宗総本山・聖護院。創建は寛治4（1090）年で、智證大師^{ちしやうだいし}円珍による建立と伝えられる常光寺を、白河上皇の熊野詣の案内役を務めた僧・増誉^{ぞうよ}が下賜され、聖護院と改めました。増誉は同時に熊野三山霊場を統括する熊野三山検校^{くまのさんざんけんぎやう}にも任命され、以降、聖護院が熊野の修験者組織をまとめ、長く修験道を支えてきました。

第52世門主の宮城泰年氏にお話をうかがい、森から離れてしまった現代人へのメッセージをいただきました。

「修験者」「山伏」と聞いて思い浮かぶのは、時代劇のなかで法螺貝を吹き、特徴的な頭巾と白装束を身につけ、金剛杖^{こんこうづえ}を持って山を歩く修行者の姿。山や森とかけ離れた現代の都会に住んでいると、彼らは昔の人、別世界の人のように感じられるのではないだろうか。

「街を修験者が歩く姿なんて現代ではあまり見られませぬね。でも江戸時代には17万人も修験者がいたという記録があるくらい、生活のなかに溶け込んでいたようです」

山は、時に恵みを与え、時に自然災害を引き起こす。それが古代の人々にとって、人智を超えた偉大な力を持つ神として認識され、山岳信仰へとつながった。この山岳信仰に神道、仏教、道教、陰陽道などが習合して確立した日本独自の宗教が、修験道である。飛鳥時代から奈良時代にかけて、役小角^{えんのおづぬ}が活躍し、葛城山、大峰山という霊場を開

いて修験道の基礎を作った。

「奥山には獣もいるし、難所もある、常に死と隣り合わせの厳しい世界です。役小角は、そこで、奥駟修行をはじめとする抖擻^{とそう}※1によって煩惱を断ち切る修行に励みました。その後、その姿を模範としながら、特に密教と結びついて現代の形へとなっていました。平安時代後期に聖護院が創建され、総本山として優婆塞^{うぱさく}※2集団であった修験者が組織化されていきました」

鎌倉時代から室町時代にかけて、修験道が全国へ広がるのに合わせて、聖護院の末寺も全国に普及。江戸時代には優婆塞ながら寺を持つ修験者も出て、全国で25000寺もあったといわれる。病氣平癒の祈禱などをする行者として庶民に必要とされていたこと、また、最低限の授戒と掟と山岳修行だけで修験者になれたことなどが増加の一因だと思われる。

しかし、明治5年に修験宗廃止令が出され、末寺は500以下までに減少し、聖護院自体も天台宗に吸収された。村々にあった役小角の祠は取りつぶされ、広く庶民に根付いた修験道がこれを機に衰退していったのである。

「現代でも山に入って修行をしている方はいます。ただし、プロとしての専門修験者は私たちのような寺院山伏だけでしょう。一般の信徒は、平日は仕事をして週末や行事のときだけ修行をされています。週末だけでも

みやぎたいねん
聖護院門跡 門主 宮城泰年

1931年、京都市左京区聖護院内の積善院に生まれる。龍谷大学文学部国文学科を卒業後、新聞社に勤務。退職後、北爆下のハノイやボル・ポト政権下のカンボジアなどを取材し、アジアの仏教者と親交を深める。本山修験宗聖護院に奉職。庶務部長、宗務総長、聖護院門跡執事長などを歴任し、2007年、門主に就任。新聞記者時代の経験を活かし、宗教者の平和活動に取り組む。京都仏教会常務理事（現）、京都府・京都市仏教会事務局長、日本宗教者平和協議会代表委員などを歴任。龍谷大学文学部仏教学科で教鞭をとる。主な著書に『役小角と修験道の世界（葛城の修験とその遺品）』（毎日新聞社）など。





奥吉野の奥駈け修行

山に入って修行をすることで、日頃気付かないことに気付く時間を持つことが魅力のようです」

宮城門主は続けて、ひとつの例を挙げた。昭和50年くらいに遡る話である。体重が100kgほどある一人の信者が「熊野の奥駈けに参加したい」と申し出た。奥駈けは、100kmに及ぶ行程を、4日間かけて踏破する。岩あり川あり、細い道、急な道がある険しい道のり。途中で倒れた場合のことも考え断ったが、「どうしても」という熱い想いを受け「調子を見ながら……」という条件付きで許可した。1日目、山上ヶ岳^{さんじょうがたけ}までは順調だったが、2日目から急激に体力が低下し荷物を持つことすらできなくなり、リュックも水筒も袈裟も腕時計までも誰かに持ってもらうことに。屈強な山伏8人ほどに支えられながら3時間遅れで宿泊場である山小屋に到着した。もう引き返すこともできず、3日目も引き続き、皆のサポートを受けながら、何とか奥駈けの道のりを終えたという。

「彼はそのとき言いました。『地獄を見ると聞きましたが、本当に地獄でした。辛くて苦しくて、追い抜いていく皆の背中に恨みの目を向けました。でも、いつの間にか私の荷物を誰かが持ってくれて、休むたびに誰かが水を口元まで持ってきてくれる。何の利害関係もない人が、悪態をつく私を怒りもせずに助けてくれていることに気付きました。そうすると本当の地獄は、人を恨む自分の心のうちにあったんだと目が覚めました』と。山の厳しさが自分の心と向き合う時間を与えてくれたのだと思います。日常では体験できない極限状態になった時、人間はありのままの自分や他人の心と無心で向き合い、何かを学ぶことができるのではないのでしょうか」

都会の喧騒を離れ、自然が醸し出す音のみが支配する奥山の神聖さは、信心のない人ですら神聖で厳粛な空気を感じ取れる。その奥山を霊場と定める修験道には、山を守るための掟がある。たとえば「^{なびき}摩^{※3}八丁斧入れず」といい、参拝霊場のある尾根^{なびき}には神さまがいるので斧を入れてはいけないといったもの。科学的根拠などない時代からの掟ではあるが、それが山を守ることに繋がっている。しかし明治以降人工林が拡大し、一部が手入れ不足になると、山の保水力は失われ、生態系のバランスがくずれた。人里に獣が現れ、少しの雨で山崩れを起こすようになったの

だ。

「明治以降、人々は山を“神仏のいる場所”とは考えず、“モノ”としてみるようになったのでしょうか。でも実際は、山はたくさんの命の集合体なのです。木だけでなく、川もあれば動物もいる……。命あるものが集まって微妙なバランスで1つの個を形成しているのです。それを“モノ”として扱い、自分たちの勝手にバランスを壊してしまうとその反動はわれわれ人間に帰ってくるのです」

雨が降ろうが天気になろうが、陽が沈もうが気付かない都会の人間が忘れてしまったのは、「人間が自然の一部である」こと。光があれば、闇がある。山を荒らせば何が起るか、自然のバランスを科学技術でねじ曲げればどうなるか……。物事の一方しか見ないことのデメリットは必ず戻ってくるのだ。そういう意味で、闇に目を向け、自然へ目を向け、計り知れない自然の力に畏敬の念を持つことが、現代人にとって一番必要な修行なのではないだろうか。

- ※1 衣食住に対する欲望をはらいのけ、身心を清浄にすること。また、その修行。
- ※2 正式な出家をせずに在家のまま修行をする人
- ※3 吉野・熊野間の大峯山中に祀られ、神仏が宿るとされた道沿いの拜所・行所

行事紹介

護摩修行

日時 6月7日(日) 午後3時～4時

料金 無料

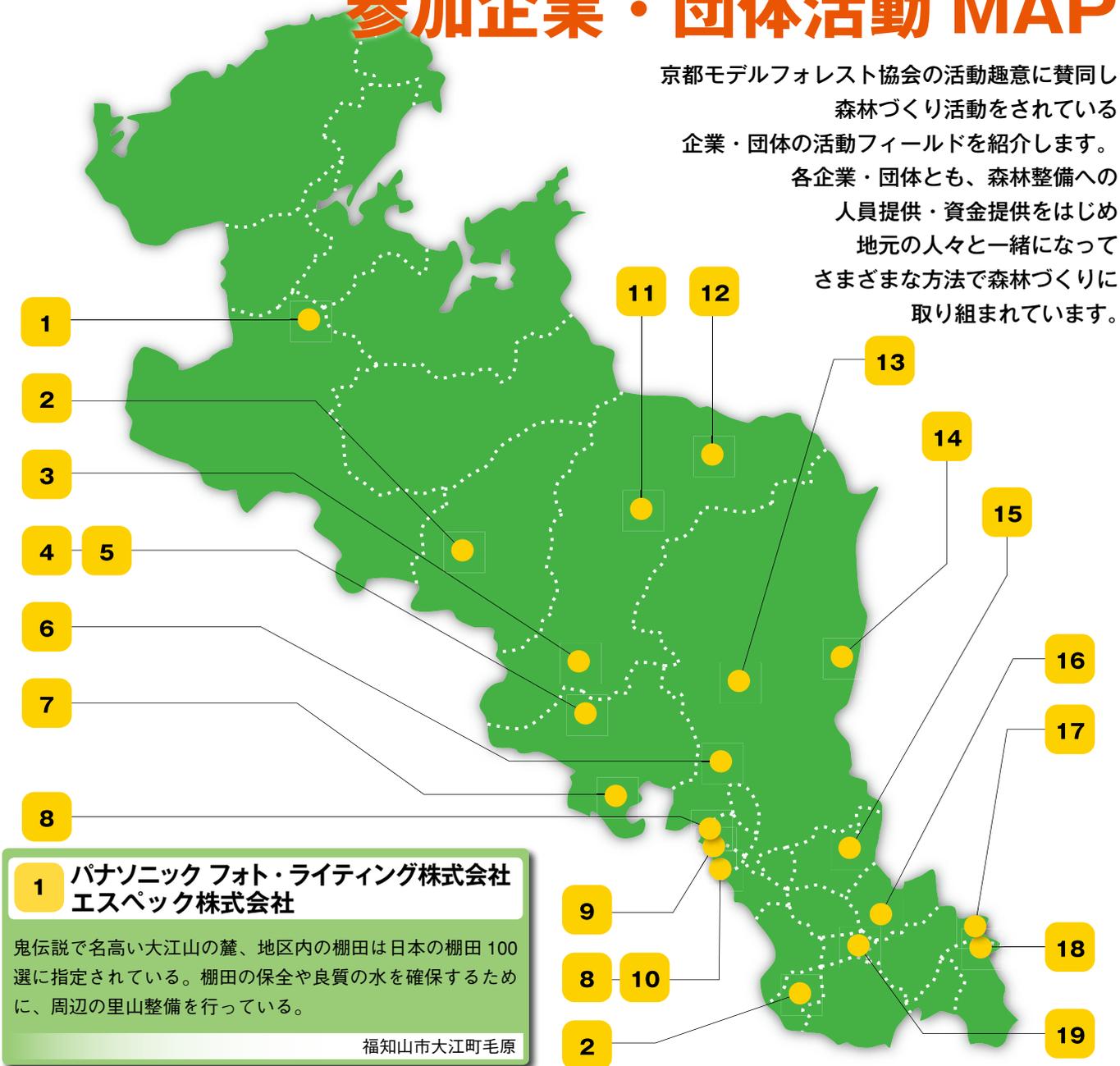
場所 聖護院門跡 宸殿前道場

6月7日は修験道の開祖であり、山伏の始祖でもある「役小角」の命日に当たる。この日を記念して百人の山伏が開祖に報恩の護摩を捧げる。「護摩」は焼き尽くすという意味があり、人々の悩みや欲望を不動の火炎で焼き尽くす作法で、煙が町内を包み、火炎が立ち上る勇壮なものである。護摩に先立って「山伏問答・法弓・法剣・斧」の作法が伝統に従って行われる。



「京都モデルフォレスト運動」 参加企業・団体活動 MAP

京都モデルフォレスト協会の活動趣意に賛同し
森林づくり活動をされている
企業・団体の活動フィールドを紹介します。
各企業・団体とも、森林整備への
人員提供・資金提供をはじめ
地元の人々と一緒になって
さまざまな方法で森林づくりに
取り組まれています。



**1 パナソニック フォト・ライティング株式会社
エスペック株式会社**

鬼伝説で名高い大江山の麓、地区内の棚田は日本の棚田 100 選に指定されている。棚田の保全や良質の水を確保するために、周辺の里山整備を行っている。

福知山市大江町毛原

2 “ニッセイの森” 友の会

京丹波町では、平成 16 年の台風 23 号で被害を受けたヒノキ林跡地の再生のため植樹活動を行う。また、花空間けいはんなの里山林では、森林調査や抜き伐りなどの里山整備活動を行っている。

京丹波町和田／花空間けいはんな

3 株式会社島津製作所

京都縦貫自動車道八木インター付近に位置するスギ・ヒノキやアカマツ、広葉樹林からなる里山林。手入れが十分でない森林が増加しているため、森林整備活動を行っている。

南丹市八木町玉ノ井

4 株式会社村田製作所

古くから宮内庁へ米を献上していた亀岡市宮前町。アカマツ林、スギ、ヒノキの人工林、コナラなどで構成された森林の整備および植樹活動、環境学習活動等を行っている。

亀岡市宮前町神前

5 全労済京都府本部

古くから宮内庁へ米を献上していた亀岡市宮前町で、拡大した竹林伐採、コナラ、クリ、ヤマザクラなどの広葉樹林の植樹、樹木調査や野鳥観察などの環境学習活動を行っている。

亀岡市宮前町神前

6 住友生命保険相互会社 京都大学

京の街と南丹地域を結ぶ山陰街道の老ノ坂峠の麓にある京大桂キャンパス内の森林が活動地点。近年、竹林が拡大しているため、竹林整備等を行っている。

京都大学桂キャンパス

7 株式会社東芝

安威川の源流域として豊かな水を育む桜峠で、アカマツ林、人工林の整備やヤマザクラの植樹などの活動を行っている。

亀岡市東別院町東掛

8 サントリー株式会社

有名なタケノコ栽培地の一つ・西山では、竹林整備、人工林の手入れなどの活動を行っている。また、西山の最南端・天王山では、竹林の拡大の進行を抑制するための整備を行っている。

長岡京市西山／大山崎町大山崎天王山

9 京都乙訓ロータリークラブ

かつて薪や柴などの燃料源、タケノコなどを採っていた里山。今は手入れが行き届いていないため、保全活動として竹林や広葉樹の整備を行い、また里山の大切さを子どもたちに伝える活動もしている。

長岡京市浄土谷ヤケ山

10 KDDI株式会社

西山の最南端に位置し、「天下分け目の天王山」の地としても有名な天王山で、竹林の拡大を抑制するため、竹林整備、針葉樹・広葉樹の整備などの活動を行っている。

大山崎町大山崎天王山

11 三共精機株式会社 佛教大学

茅葺き民家で有名な美山町の南西部に位置する山林。森林はスギ・ヒノキの人工林であり、近年手入れがされてないことから、保全整備として間伐などの活動を行っている。

南丹市美山町宮脇

12 三洋電機株式会社

貴重な自然が残る芦生原生林への旅宿として知られる河鹿荘の背後の山が活動拠点。環境保全活動の一環として、植樹活動等を行っている。

南丹市美山町中

13 三井物産株式会社

西明寺の北西に位置している。森林はアカマツ、コバノミツバツツジが主体。大文字五山送り火、鞍馬の火祭りに必要なアカマツ・コバノミツバツツジの育成を行っている。

京都市右京区梅ヶ畑

14 京都南ライオンズクラブ

古くから京都に馴染みのある比叡山で、環境に優しい森づくりを目指し、スギ・ヒノキの間伐などの活動を行っている。

比叡山

15 株式会社NTTドコモ

深い緑と清らかな水が流れる静寂な宇治市炭山。森林は、アカマツ林と人工林からなり、間伐などの整備活動を行っている。

宇治市炭山

16 コカ・コーラウエスト株式会社

かつては皇室の御料林として使用された歴史がある宇治田原町御林山。現在はその約8割が人工林であるが、森林の手入れが行き届かなくなっており、間伐や枝打ち等の活動を行っている。

宇治田原町立川御林山

17 株式会社平和堂

和束町の湯船森林公園内の森林で、水源かん養や保健休養保安林に指定されている。ヒノキ1ha、アカマツ10ha、広葉樹4haの森林の保全のために植樹や草刈り、広葉樹の整理を行っている。

和束町湯船

18 積水化学工業株式会社

標高500メートルの高原で、きれいな水と空気の下で茶や野菜の栽培が行われている南山城村童仙房。森林は、アカマツが多い人工林、広葉樹林の手入れや環境教育などの活動を行っている。

南山城村童仙房

19 ワタキューセイモア株式会社

府内最大の農業用ため池と自然レクリエーションの場としての役割を持つ大正池。その水源の森を目指して、植樹、間伐、枝打ち等の活動を行っている。

井手町多賀

森と木の ナルホド講座

監修：(社)京都モデルフォレスト協会

日本の陸地面積の約 67%を占める森林。

日本は世界で有数の森林国です。

世界の中では森林に恵まれている私たちですが、
実際、どれくらい森や木のコトを
知っているのでしょうか？

ここでは、知ってるつもりでもよく分かっていない
森や木に関するナルホドをご紹介します。

第3回：森林整備の必要性 ①

なんで、森林整備が必要なの？

もし、森林がなければ、水が地面にしみ込む量より
も山の斜面を流れ落ちる量のほうが増え、大雨などが
降った場合は、それが河川に流れて洪水の要因になり
かねません。万が一、洪水が起こると、周辺の環境や
生態系は大きく変化してしまうでしょう。

森林は木材の生産以外にも、生き物の住みかとなり、
土砂災害を防ぎ、水を溜めるダムのような働きをし、
光合成による CO₂ の固定化するなど、私たち日常生活
を営む上で欠かせない大切な機能（公益的機能）をた
くさん担ってくれています。

しかし、現在、農山村地域では住民の高齢化、林業
の衰退などにより、地元だけでは森林を管理することが
困難になり、森林の持つ機能の低下が見られます。たと
え、遠目には目立たなくても、一歩森林に入ると、日中
でも薄暗く、立ち枯れの木や腐った木が放置され、下
草すら生えない不健康な状況があちこちに見受けられ
ます。そんな不健康な森林では、公益的な機能の十分
な発揮は望めません。だからこそ本来の健康な森林に
戻すために、森林整備活動が必要なのです。



(参考資料：『もりをまもる-管内の治山-』 近畿中国森林管理局)

もり 森林の健康を取り戻すためには どうするの？

少し前までは、薪や木の実や山菜を採ったり、木材
を生産したりと、人々は日常的に森林に入っていました。
この「日常的に森林に入ること」が、実は、健康的
な森林を維持するために、とても大切なのです。人
が森林に入ること、不要な草は刈り取られ、木に巻
きついたツタや立ち枯れた木は取り除かれ、樹木は生
長しやすい環境になります。また、樹木が混みあって
くれば適度に伐採され、残った樹木がより健康にな
れるのです。

しかし、やみくもに森林に入って木を伐れば良いわ
けではありません。「放置されている人工林」であれば、
森林の公益的機能が持続的に確保できるような整備を。
「里山林」であれば、癒しの機能やレクリエーション機
能などに活用できるような整備を。「奥山林」であれば、
最小限の手入れにとどめ、水源かん養の維持を継続さ
せるような整備を。それぞれの森林の現状や特性を見
極めて整備することが大切です。

次号では、具体的な整備の内容に触れていきます。

森林整備の方向性

| | 区分 | 現状 | 整備の方向性 |
|-----|-----------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 人工林 | 管理されている人工林 | 林業が営まれ、適正に管理されている人工林 | 木材やバイオマスなどの木質資源を、継続的・安定的に供給できるように |
| | 放置されている人工林 | 林業の衰退、高齢化などで放置されている人工林 | 森林の公益的機能の、持続的な確保を目指す |
| 天然林 | 集落周辺の天然林（里山林） | 薪炭利用、採草地として利用されてきた農山漁村周辺の天然林 | 保健・レクリエーション機能など多様な機能の、継続的な確保を図る |
| | 集落周辺以外の天然林（奥山林） | 集落等でほとんど利用されていない奥山等の天然林 | 必要最小限の整備にとどめ、水源かん養等の機能の維持保全を図る |

このページは、以森伝心リポーターが実際に協会の活動に参加し、レポートした内容を中心に掲載しています。

京都モデルフォレスト運動 2 周年記念シンポジウム (リポーター：富山みゆき)

開催日：2008年11月16日(日)

場所：アバンティホール

著名なゲストが来られるとあって、会場は様々な年齢層の聴講者で満席でした。カナダからのゲスト、QWEB 理事長シルヴァン・ラベ氏は、木材の長期有効利用の可能性等、京都議定書の新しい方向性について話されました。また、写真家今森光彦氏は、自身の活動や経験を交えて里山の重要性を語られ、田園風景や人々の暮らし、動植物の美しい写真等、大変心の和む写真が映し出されました。

東京大学名誉教授養老孟司氏は、独特の語り口で、自然と切り離され

てしまった現代人の課題を話されました。中でも「人工とは人間の意識が作り出したもの。その外側にあるのが自然。どれだけの人々が本気で自然を身につけるかで、未来が変わる」という言葉が大変印象に残っています。養老氏が子供だった時代は、直接自然に働きかける第一次産業(農業、林業、水産業等)が地域に根付いており、そのため周りに存在する自然とのつきあい方が、人々の生活に染み込んでいたようです。自然を五感で学び、それによって得た感覚や心が、現代の社会問題や環境問題を解決する際の助けになるとおっしゃられました。

対談や質疑応答を終えて、シンポジウムの最後は、「自然を学びに野山に出かけよう!」という言葉で締めくくられました。森は自然を身につける格好の場所です。人工の象徴である都市を飛び出して、森に出かけたくくなりました。



著名な先生方の講演が開けるとあって、大勢の人が来場しました

森林ボランティア活動安全講習会 (リポーター：絹川雅則)

開催日：2009年3月1日(日) 場所：府民の森ひよし

16の団体や企業等から総勢25名が集い、行われた「森林ボランティア活動安全講習会 チェンソーの取扱い等について」取材しました。

初めの講義では、「伐倒は抜刀にあらず 浴びせ倒しは×」「つるは作業者の命を守るもの」等、講師の古屋昭氏(林業木材製造業労働災害防止協会京都府支部)の^{そまびと}^{とつとつ} 訥々とした語り口から飛び出す「森言葉」の面白さに魅了されました。室内実習ではチェンソーの目立て(刃をやすりで鋭く研ぐこと)を体験し、これがまずいと山の中で作業がはかどらないとの教えに、一同真剣な面持ちで臨みました。

次はいよいよ玉切り実習です。地面に置いた丸太を輪切

りにしていきます。チェンソーの始動から停止までは、やはり緊張した時間が走ります。どうやら参加者の何人かは作業の未経験者のようで、中には始動に手こずる人、および腰の人もおられました。皆さん見事に玉切りを終了しました。その後、更なる高等技術のデモを古屋氏に見てもらい、一同感嘆の声でした。

修了証交付の後、弁当をつつきながら自然発生的に交流会へ突入し、森に関わるNPOや企業の方々が情報交換をしました。ここから、新たな動きも生まれるような気がしました。



実習の様子

第3回リポーターズミーティング

2月24日に第3回リポーターズミーティングを開きました。今回は、京都モデルフォレスト協会の活動をよりよいものにしていくために、リポーターが現在の協会の分析を行い、各自が協会の事務局長になったと仮定して、事業内容を計画しました。

事業の計画では、「コンペを開き、地域に根ざした活動を評価する」「森林づくり活動に参加した人の就職を有利にする」「他の環境に関する企画やポイント制度と連携させる」等のアイデアが生まれました。また、リポーターの所属企業では、森に行くことで「社内での会話の内容に広がり

が出た」「環境問題への関心が高まった」等の社員の変化があり、それこそが成果なのではという意見も出ました。

協会の今後の目指すべき方向性としては、「市民が気軽に自然に触れる機会をつくる」「参加者に意義を理解してもらい、次の活動へ発展させる」「林業や農業に参加できる社会をつくる」等、協会の活動をさらに推進するためのアイデアが多く出ました。ミーティングの終了後には場所を変えて懇親会が行われ、時間の許す限り、熱い議論が続きました。

自然と議論が熱くなっていきます



活動報告

森の健康診断



3月14日、安祥寺山国有林で、人工林の下層植生や混み具合を調査し、その健康状態をチェックする「森の健康診断」を行いました。参加者からは「簡単な道具で調査ができた」「みんなで協力し合えた」といった感想が聞かれました。

京都府緑の少年団活動発表大会

3月15日、南丹市国際交流会館コスモホールで、今夏7月に開催される「第20回緑の少年団全国大会」のプレ大会として「京都府緑の少年団活動発表大会」を開催しました。約100人の少年団員が集い、ブロック交流集会の活動について発表し合いました。



森を巡るツアーを開催



3月20日、京都市京北町の片波川源流域において「巨木に出会う片波川源流域ツアー」を開催しました。35名が参加、胸高幹周が15.2mもある伏条台杉などを観察しました。参加者からは「街の近くにこんな巨木があるとは！」などの感想が聞かれました。

緑の募金にご協力ありがとうございました

皆様のご厚意で寄せられた募金は、京都の森林・緑づくりや青少年の緑化活動支援などのために活用させていただきます。

また、平成21年春の緑の募金活動を実施中です。皆様のご協力をお願いします。

平成20年募金額
18,243,477円



子どもたちと植樹活動を実施

森林づくり活動にかかる協定締結

2月2日、ワタキューセイモア株式会社と森林の利用保全に関する協定を締結しました。



森と木のちょこっとクイズ

A、Bの□に当てはまる言葉を入れて、文章を完成させてください。

森林の主なはたらきは、Aの生産以外に、生き物のすみか、土砂災害の防止、水をためるダムのような働き、光合成によるBの固定化などが挙げられる。

募集要項

正解者には、抽選で北山杉で作った木製の小物いずれか1点を、抽選で10名様にプレゼントします。

ご希望の方は、「解答」と「住所」「氏名」「どの木製小物を希望するか」を明記し、2009年6月末までにE-mailかFAX、もしくは郵送で(社)京都モデルフォレスト協会(下記宛先)までご応募ください。



北山杉のお箸



北山杉のペーパーナイフ



北山杉の一輪挿し
(花は付きません)

発行：社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内

TEL & FAX 075-414-1270 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp

URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2009年4月発行

企画・編集：自然堂(じねんどう)株式会社



この印刷物は間伐材印刷用紙に大豆油インキで印刷しました。